



アフガニスタンへ 農業技術支援に

NGO法人温室効果ガス排出権取引機構（NGO-GETA）の理事、岡本英樹さん（緑）が、同法人によるアフガニスタンに農業技術支援派遣者として市長を表敬訪問しました。

岡本さんは10月18日から約10日間アフガニスタンに派遣され、現地で梨の接ぎ木の技術を指導し、現地の働く機会の増加を目指します。

岡本さんは「現地の農業の現状を見ることで学び、今後の活動に活かしたい」と意欲を見せ、市長は「民間での外交支援をがんばって欲しい」とエールを送りました。



エゴマ灯明で昔を偲ぶ

9月6日、国指定史跡の下野薬師寺跡ふるさと歴史広場において「エゴマ灯明の会」が行われ、多くの来場者でにぎわいました。

灯明皿や灯芯、燃料のエゴマ・菜種油にいたるまで、すべて下野薬師寺ボランティアの皆さんの手作りでまかなわれています。復元回廊では「語り部の会ゆうがお」により下野市のむかしばなしや、「うたよみかんだ」によるコーラスが披露され、来場者を楽しませました。



下野市書道連盟展の書道パフォーマンス 一筆入魂

9月14日、下野市書道連盟展の特別イベントとして、今年初めて高校生の書道パフォーマンスをグリムの館で開催しました。

市内の書道塾に通う高校生、石橋高校、上三川高校書道部の3団体に分かれて行いました。音楽に乗せて書いたり、大筆を使って書いたり熱気にあふれ、見応えのあるパフォーマンスでした。



稲刈り体験

自分で作ったおいしいお米

9月20日、生産者と消費者が一緒になって、米の田植えから稲刈りまでを体験してもらおうと、市農業公社主催の「稲刈り体験」が行われました。

今回刈り取った稲は、今年5月の田植え体験で自分たちが植えたものでしたので、参加者は稲の成長ぶりに驚いたり喜んだりしながら作業していました。

収穫したお米は、脱穀・乾燥・精米をした後、参加者へ配付されることになっています。参加者は「とても楽しかった。早くこのお米が食べたい。」と話していました。